

化石研 ニュース

145 2022/6/25

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

第40回化石研究会 総会・学術大会 岡山理科大学（オンライン） プログラム

第40回化石研究会 総会・学術大会（通算155回）のプログラムをお知らせします。本会の開催は、岡山理科大学の石垣 忍会員にお世話させていただきます。シンポジウム・総会・一般講演・岡山理科大学恐竜学博物館のバーチャル見学と盛りだくさんな計画となっています。皆様の参加をお待ちしています。

■ 日時：2022年7月10日（日）10時～17時

■ 会場：Web開催（世話人 石垣 忍 会員）

■ 主催：化石研究会・岡山理科大学

■ 日程：以下のとおり。

10:00～12:10 シンポジウム「足跡学——その現在と今後の展望——」
詳細は2ページご覧ください。

13:10～13:50 総会（会員のみ）

14:00～15:45 個人講演（口頭のみ：1講演あたり15分）

16:00～17:00 岡山理科大学恐竜学博物館見学（バーチャル）

■ 参加費：学生；無料、一般；1000円

■ 参加申し込み締め切り：7月9日（土）申込方法は5ページをご覧ください。
この日までに申し込まれた人には講演要旨集とURLをメールで送ります。

シンポジウム

「足跡学—その現在と今後の展望—」

10:00～12:10

《開催趣旨》世話人：石垣 忍（岡山理科大学恐竜学博物館）

足跡化石研究は、「体化石では得られない情報を提供できる現地性の「生」の記録」であるという特性を十分生かし切れているだろうか？ 体化石研究や他分野と連携して新しい挑戦ができているだろうか？ 現在を見据え、未来を展望します。

10:00～10:05 会長挨拶 三島 弘幸

10:05～10:10 世話人挨拶 石垣 忍

10:10～10:40 講演1 高津翔平（岐阜県博物館）

「古行動学事始め。足跡化石から見た”群れ”の集団行動」

恐竜類の社会集団や集団行動については、角竜類や鳥脚類、獣脚類、竜脚形類など多くの分類群において示唆されています。それらの集団や行動の根拠として、多数の骨化石や足跡化石群が示されていますが、なかでも確かな根拠とされるものの多くを足跡化石記録が占めています。本発表では古行動学事始めとして、恐竜類の集団行動に関する足跡学的な定義とそこから読み取れる行動学的特徴を、タイ王国の獣脚類足跡化石群をもとに紹介します。

10:40~11:10 講演2 築地祐太 (福井県立恐竜博物館)

「足跡化石分類学の現状と課題 -恐竜類足跡化石を例に」

化石を研究する上でそれらを分類し整理することは必要不可欠だが、生物の生活の痕跡が化石化した生痕化石においてもそれは例外ではない。特に恐竜類の足跡化石に関して、これまで多くの研究者によって記載され発展してきた一方で、いくつかの諸問題も発生してきた。本発表では恐竜類足跡化石の分類学に着目し、その現状と課題について紹介する。

11:10~11:40 講演3 石垣 忍 (岡山理科大学恐竜学博物館)

「足跡化石研究 40 年。その中から見えてきたこと」

足跡化石の科学的な研究開始は 1830 年代である。ヨーロッパではキロテリウム、アメリカではコネチカットでの恐竜足跡化石研究の盛り上がりがあった。その後、足跡研究の進展は大変緩やかだったが 1980 年ごろからの新しい恐竜観の形成に伴って「足跡化石のルネサンス」がはじまった。その時期に足跡を研究し始めた講演者が、モロッコやモンゴルでの最新成果も紹介しながら、40 年を概観する。

11:40~12:10 総合討論

「足跡化石研究の明るい未来を描く」

この 40 年で足跡化石に関する報告は激増し、古生物学への顕著な貢献もあった。そうしたことが一段落した現在、今後のこの分野のブレークスルーは何なのか、そのためには何をすればよいのかを討論します。

昼休憩 12:10~13:10

総会 (会員のみ) 13:10~13:50

個人講演（口頭のみ：1講演あたり15分）

14:00～15:45

1. 14:00～14:15 海野奏・中島保寿
水-堆積物境界における実験生痕学的手法の開発：カプトガニを用いた水底足跡化石の再現の例
2. 14:15～14:30 笹川一郎
硬骨魚類条鰭類ガノイン鱗のガノイン形成—中・古生代のなごり
3. 14:30～14:45 小寺 稜
鯨類における髓下葉の形成を伴う歯根分岐の可能性
4. 14:45～15:00 鈴木久仁博・松野昌展・宇都宮忠彦
日本産爬虫類（ニホンヤモリ：*Gekko japonicus*）の歯と骨性結合の構造
5. 15:00～15:15 三島弘幸・山口 大
ヒトのセメント質吸収における硬度の違いと矯正治療における歯根吸収の差は核因子カッパBリガンド（RANKL）に関連する可能性
6. 15:15～15:30 大江文雄・田畑諒一・北田稔・谷本正浩
鮮新統古琵琶湖層群上野層から産出したナマズ属頭蓋骨（北田標本）について
7. 15:30～15:45 犬塚則久
竜脚類の姿勢とロコモーションの復元

岡山理科大学恐竜学博物館バーチャル見学

16:00～17:00

総会・学術大会の参加方法

今回の総会・学術大会に参加を希望される方は下記の申込先に電子メールで申し込み、参加費を送金してください。折り返しZOOMアカウントのURLを返信します。要旨集（PDF）はでき次第メールでお送りします。

申し込み先：石田 吉明 会員

メールアドレス：y-ishida@msi.biglobe.ne.jp

参加費：一般 1,000 円、学生 無料

送金先：ゆうちょ銀行の振替口座（会費の納入講座と同じ）

口座記号番号 00100-7- 633288

加入者名 化石研究会

※総会・学術大会参加費 と通信欄に明記してください。

申込期限：7月9日まで

化石研究会 157 回例会（ZOOM でのオンライン講演）お知らせ

日時：2022 年 11 月 6 日（日）13:30～16:00 予定

仮題「最新の野尻湖発掘の成果について」

地質、人類考古、哺乳類に関する話題提供

世話人；近藤洋一 会員(野尻湖ナウマンゾウ博物館)

運営委員会の開催について

役員の方はご出席ください。

日時：7月9日(土) 10:00~12:00

※ 詳細につきましては、別途メール等で連絡いたします。

>>> 事務局だより <<<

- 当会会費は「前納制」となっております。未納の会員の方は、以前お送りした、ゆうちょ銀行の払込取扱票を使って、2022年度分の会費（一般4,000円、学生2,000円）を納入していただきますよう、よろしくお願いいたします。
- この化石研ニュースを、現在、郵送で受け取られている会員の方で、電子メールでの受け取りが可能な会員は、メールアドレスをご連絡ください。ニュース発行時に電子メールでお送りします。費用と労力の削減のために是非とも御協力ください。
- 会誌やニュースの送付先（ご自宅、勤務先）が変更となった際には、事務局までご一報ください。

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1 群馬県立自然史博物館

高桑祐司気付

TEL：0274-60-1200 FAX：0274-60-1250 E-mail：BXJ04105@nifty.ne.jp

ウェブページ <http://kasekiken.jp/>

化石研ニュースは、上記の化石研究会のウェブページでも見ることができます。前号までのニュースも掲載しています。